



鳥東高通信

第174号

平成30年7月

編集・発行

鳥取東高等学校PTA
鳥取県立鳥取東高等学校

印刷

日ノ丸印刷株式会社

詳しくはP.4~10に掲載

六年ぶりに鳥取東高校の勤務となりました。その当時のことを思い出して懐かしい気持ちになることはありますが、初めて出会った生徒達を前に、新たな気持ちで頑張っていきたいと思っています。

多くの部活動で、五月下旬から七月に大切な大会がありました。目標を達成できた人、目標に届かなかった人など様々だと思いますが、毎日一生懸命練習してきたことや、大会で頑張ったことは貴重な経験になったのではないのでしょうか。

部活動に限らず、高校生活ではたくさんを経験します。例えば、進路実現に向けての勉強、学校行事におけるクラスの準備、様々な人との出会い、初めてのことへの挑戦などです。結果として、うまくいくこともあれば、うまくいかないこともあります。全て、貴重な経験です。これらの経験をより価値のあるものにするためには、その後の生活の中で生かしていくことが必要だと思います。

たくさんを経験し、経験から学んだことを、高校生活の様々な場面で生かしていくことで、その積み重ねが、高校生活を充実させることにつながるとともに、重要な判断をしないといけない時の力にもなると思っています。



東高生に期待すること

教頭 岩本 孝治

昨年引き続き、今年度も会長を務めさせていただくことになりました。保護者及び教職員の皆様のご協力をいただきながら、より良い鳥取東高になるように努めていきます。

この鳥取東通信が発行される七月は、一年生は高校生活のベースに慣れ、二年生は高校生活の中間点にさしかかり、三年生はラストスパートに向けて力を蓄えている頃だと思います。

生徒の皆さん、これまでの高校生活はどうでしたか？思い通りになったこと、ならなかったこと色々あったことでしょうか。

個人的な思いかもしれませんが、現代社会はあまりにも減点方式で評価されているのではないのでしょうか？。現実であること、失敗しないことが最優先されて、誰も思いつかない斬新な発想や手法に対して慎重になり過ぎていていると思います。現実、安全は確かに大切です。

でもそれだけで良いのでしょうか。人間の進歩は、トライ＆エラーの賜物です。生徒諸君、何事に対しても常識にとらわれず「レッツ チャレンジ！」。失敗することも多いでしょうが、今の君たちが気にすることはありません。失敗した経験は今後の糧にすれば良い。それだけのことです。

また私を含めた周りの大人は、加点方式で生徒達を評価しましょう。新しいこと、困難なことに取り組むことは、それだけでもすごいエネルギーを必要とします。チャレンジしたことは何物にも勝る経験となります。仮に失敗したとしても、必ず何かを学びます。それを繰り返して、成長していけば良いと思います。



レッツ チャレンジ！

PTA会長 網谷 憲治

文化広報部



部長 大野 弥生

文化広報部は「鳥東高通信」を年4回発行しています(7月号・12月号・3月号・4月号)。

毎号、その時その時の旬な情報を追いかけて様々な場面に出入り取材しています。写真撮影、インタビューや投稿など、あらゆる角度から紙面を作ります。

今年度、17名の仲間と始動しました! 和気あいあいのムードの中にも緊張感のある部会を経て出来上がっていく【鳥東高通信】は、文化広報部の汗の結晶です。

保護者様、先生方に原稿の依頼などをお願いすることがありますが、その時はどうかご協力をお願いいたします。

研修部



部長 田中 雅彦

研修部では、「保護者のための進路セミナー」「大人の遠足:鳥取大学」を計画しております。

9月に予定している、1年生・2年生の「保護者のための進路セミナー」は、排水工事のためグラウンドが駐車場として使用できませんので、外部会場で実施します。

PTA活動があまり負担にならないよう、この1年の活動を進めます。

会員の皆様には、研修部の活動に参加をお願いいたします。

平成30年度 PTA活動紹介

健康・生活部



部長 三谷 浩子

「おぎゃー」と、この世に生を受け慈しみ育てた子どもたちも、もう高校生。子育てで終盤を迎えつつあります。近い将来親のもとから巣立ち、自分の足で歩み始める準備をこの東高時代にしっかり身につけてほしい、そう願いつつ、どんなサポートができるかを重点に活動しています。心と身体の健康、食育を基に、今年は学校保健委員会、生徒保健委員会とタイアップした共通のテーマ「歯」に特化した研修会を予定しています。その他、高校生マナーアップ運動の一環での朝の挨拶運動、食育フェアでは、おせっかい食堂のメニュー考案、など、様々なシーンに参画していきます。子どもたちの健全育成の一助となれるよう、バックアップしていきたいと考えています。

人権教育部



部長 安岡 裕明

私たち日本人は、どちらかと言えば「違い」を認めるのが苦手です。たとえ家族であっても、お互いのことをすべて理解し合うのは容易ではありません。

『人を大切にするのは当然。相手が「自分は大切にされている」と感じられる接し方をすることが大事』…。尾室校長先生がよく話される言葉です。相手を意識しながら自分の思いを伝える…。できそうでなかなかできないことです。

『知る』ことでお互いの距離は縮まります。しかし、『知らない』と思わぬ勘違いや、時には人を傷つけてしまうこともあります。知らない人同士が生活する空間、ちょっとだけ相手を思うことを意識すれば、自分も相手も過ごしやすいく空間につながると思います。

『知らない』を『知る』に変える…。出逢いを大切にして、温かい心を育てていきたいと思えます。

人権教育部の主な活動です。

- ・部内研修会(年3~4回)
- ・人権教育公開LHR、校内人権問題講演会参加
- ・県外研究会・研修会等参加(全国人権・同和教育研究大会等)
- ・部落解放研究会県外フィールドワーク参加等

虹のしっぽ

数年前のある講演会で聞いた話。それは「信頼する力」についてです。子どもが大人になるまでに身につけておかねばならないこと、それが「大人への信頼感」だということです。

うかがが大切なのだそうです。お父さん、お母さん、学校の先生やおじいちゃん、おばあちゃん、そして地域の大人たち。一緒に楽しい時間を過ごし、同じ志で目標に向かったり、想いを共有することで、信頼感が湧いてくるのだと思います。



*人権コラム「虹のしっぽ」について

虹にしっぽなんてあるわけないと決めつけないで…。もしもあるなら見つけてみたい。考えるだけで楽しい気分になりませんか？



三年生の保護者のための進路セミナー

研修部 部長 田中 雅彦

六月二十三日（土）に第一回保護者のための進路セミナーが三年生保護者を対象に開催され、百名の参加がありました。

受験にむけて健康管理と進路相談など親の役割がありますが、親も無理をせず適度な息抜きも必要なのかなと思います。

六月二十三日（土）に第一回保護者のための進路セミナーが三年生保護者を対象に開催され、百名の参加がありました。受験にむけて健康管理と進路相談など親の役割がありますが、親も無理をせず適度な息抜きも必要なのかなと思います。



平成30年度 各種表彰者

感謝状贈呈

影井 利成	文化広報部 副部長	(平成27年度)
	文化広報部 部長	(平成28年度)
	副会長	(平成29年度)
吉村 雅子	研修部 副部長	(平成29年度)
乾 秀樹	健康生活部 副部長	(平成29年度)
岡村真由美	人権教育部 副部長	(平成29年度)
前田 知彦	文化広報部 副部長	(平成28年度)
	文化広報部 部長	(平成29年度)

県高P連会長表彰（表彰予定）

清水奈緒美	副会長	(平成27～29年度)
-------	-----	-------------

役職	氏名	クラス
会 長	網谷 憲治	3年1組
副 会 長	荒西 尚美	3年1組
副 会 長	富山 千春	3年6組
副 会 長	福田 千鶴	2年1組
副 会 長	吉澤 春樹	2年2組
監 査	小塚 郁子	3年5組
監 査	伊藤 憲栄	2年5組
監 査	近藤 一彦	2年5組
文化広報部部長	大野 弥生	2年5組
文化広報部副部長	中嶋 昌浩	1年2組
文化広報部副部長	坂本 一美	1年5組
健康・生活部部長	三谷 浩子	2年2組
健康・生活部副部長	小西 純子	2年6組
健康・生活部副部長	長石 幸子	1年6組
研 修 部 部 長	田中 雅彦	3年1組
研 修 部 副 部 長	勝田 仁美	2年3組
研 修 部 副 部 長	山根 正	1年3組
人権教育部部長	安岡 裕明	1年7組
人権教育部副部長	小西 由美	3年3組
人権教育部副部長	小林 奈津恵	2年2組
人権教育部副部長	三橋 由希	1年6組

平成30年度鳥取東高校PTA常任評議員

2018年5月・6月

高校総体・ 各種大会

結果

message

陸上部男子の皆さんへ

高校最後の総体。グラウンドで一生懸命な選手の姿、それを大声で応援する部員の姿に、私の目は涙で溢れていました。

小さな運動靴から始まった陸上人生。周りの方々の支えや、心強い仲間のおかげで立ち止まることなく走り続けることが出来ました。勝利した時の喜びや、負けた時の悔しさを共に分かち合い励まし合った部員全員に感謝の思いを込めて、大きな拍手を送りたいです。沢山の思い出や感動をありがとう!! (保護者 青木雅美)

陸上競技部

- 男子4×100mR 第6位
吉多真吾(3-6)・青木啓太(3-7)・橋本淳哉(3-4)・増田貴也(2-6)
- 赤熊佑斗(3-5): 男子円盤投 第2位 **中国大会出場**
男子砲丸投 第5位 **中国大会出場**
- 北脇秀人(3-3): 男子1500m 第4位 **中国大会出場**
男子5000m 第7位
- 三浦智紘(3-3): 男子1500m 第5位 **中国大会出場**
- 米岡駿裕(3-4): 男子800m 第7位
- 中家秀斗(3-7): 男子3000mSC 第8位

message

陸上部女子の皆さんへ

期待されたランナーではなかったものの、自分の決めた目標を達成するため走り続けた3年間。ケガや貧血で思うような結果を残せなくて、涙を見せることもありました。仲間の助けを受け、やり遂げることができました。最後のレースを終えた今、休むことなく、次は、最大のレースに向かって、走り続けてください。3年間、指導していただいた先生、お互い励ましあった仲間とマネージャーさん。皆さんに「感謝」します。(保護者)

- 浅田海生(2-3): 女子800m 第3位 **中国大会出場**
女子400m 第4位 **中国大会出場**

バスケットボール部

- 男子 2回戦 70-50 鳥取工業
準々決勝 63-59 倉吉東
準決勝 47-56 鳥取城北(第3位)
- 男子優秀選手: 西郷 健(3-3)

- 女子 2回戦 108-33 米子
3回戦 55-76 米子南(ベスト8)

message

バスケットボール部女子の皆さんへ

入部したての頃は、思うように上達せず、落ち込んでしまうこともしばしばでした。その頃と比べると、今の娘の姿は随分と逞しく、よく頑張って成長したなと感じずにはいられません。ここまで続けてこれたのは、素晴らしい先生方、先輩、後輩、仲間に恵まれたお陰です。これからは、部活動で学んだことを生かしていけると幸いです。親もたくさん感動させてもらいました。バスケットボール部に感謝の気持ちでいっぱい。ありがとうございます。(保護者 馬場さおり)

message

バスケットボール部男子の皆さんへ

男子部員の皆さん、マネージャーの皆さん、本当に最後まで感謝をありがとう。感謝しかありません。強い鳥東バスケ部にあこがれ入部してから、厳しい練習の毎日でした。個人でも努力して自主練習したり、先生の厳しい指導に涙したけれど、最後にはプレーだけでなく人間としても大きく強く成長しました。本当に立派です。残念ながら途中で退部した部員も含め、大切な仲間と経験を手にしました。ご指導いただいた先生・先輩達、応援して下さった家族やOB、そして仲間への感謝の気持ちを忘れずに、次のステップに勇気をもって進んでください! あなた達は本当に強く逞しくなりましたよ!(前田凌志の母)



ボート部

男子舵手付クオドルプル

小西真央(3-3)・徳田翔(3-5)・安井奏太(3-2)・田中創大(3-4)・中溝陽奈太(3-7) 第1位

インターハイ出場

- 男子ダブルスカル 南條達哉(3-7)・國本和輝(3-7) 第2位
- 男子シングルスカル 徳中圭吾(3-2) 第2位、博田凌太(2-6) 第3位
- 女子舵手付クオドルプル 朝倉結女(3-6)・中谷美玖(2-7)・中谷萌華(2-4)・田中歩美(2-1)・小出いつか(3-6) 第3位
- 女子ダブルスカル 渡辺英奈(2-3)・小林あい(3-7) 第3位

message

ボート部の皆さんへ ありがとう!

入学式当日、先輩に誘われ入部したのが昨日のことに思われます。よき指導者、尊敬する先輩方、ともに歩んできた同級生、そして可愛い後輩たちに恵まれ念願の全国大会出場も果たし、充実した日々でしたね!先輩たちが引退された時、今まで見せたことないくらいの涙を流し、後を継いで部長としてよく頑張りました。最後の総体で悔し涙を笑顔で流したあいの顔、後輩の皆さん忘れないでね。

最後にお世話になりました先生方、部員の皆さん、本当にありがとうございました。これからも東高ボート部がキラキラ輝く素敵な笑顔であふれるよう応援しています。(小林あいの母)



男子 2 回戦 4-0 鳥取育英

準々決勝 0-1 鳥取城北

女子 2 回戦 7-0 米子

決勝戦 2-1 鳥取城北(優勝)

中国総体出場

サッカー部

message

サッカー部男子の皆さんへ

小学校の頃から、サッカー部に入り、中学・高校と、サッカーを続けてきました。けがをして入院したこともあり、先生や部活の仲間に迷惑をかけてしまった時もあります。それでも、一言も『やめたい、えらい』など言わず、頑張って、3年まで続けたことに、とても感謝しています。部活の仲間、先生方、応援してくださる保護者の方々に嬉しく思います。部活の先生の『部活が出来ることに環境に感謝』という言葉にとっても感動しました。子どもは沢山の試合に出させてもらい、嬉しいことから辛いことから色々学び、楽しい高校生活が送れたと思います。私は試合を見に行くことも中々できませんが、子どもの頑張りを保護者の方を通じて分り合え、とても嬉しく思います。自分が部活したい時期まで精一杯頑張れ、悔いのない生活を送ってもらえたら有難いです。良い先生、良い部活の仲間、良い保護者の方々に出会い、支えられ3年間部活を楽しめたこと、とても感謝しています。ありがとうございました。(佳紀の母)

message

サッカー部女子の皆さんへ

こけでも泣かない約束で小3から始めたサッカーですが、高校ではいろんな涙を流しました。呆れずに一緒に泣いて、励まして支えてくれたチームメイトや同級生、そして個性豊かな年頃の娘たちをまとめてくださった先生方へ感謝を忘れずに!そして、いつか何かの形で恩返しができるような人になってくれたらと思います。ひとまずお疲れ様。(那須柚香の母)



バレーボール部

- 男子 1回戦 2-0 鳥西 2回戦 1-2 八頭
- 女子 1回戦 0-2 境

message

バレーボール部男子の皆さんへ

試合では、声を掛け合いフォローしあって一生懸命プレーをする姿を見ていると、こちらまで熱い気持ちになれ、いつも応援が楽しみでした。このチームで子どもたちの成長を見ることができて本当に良かったと思っています。良い仲間に恵まれ、共に歩んできた日々はみんなにとってかけがえのない財産になり、強く生きる為の力の源になると思います。(保護者 長瀬貴宏)

message

バレーボール部女子の皆さんへ

小学生の頃から憧れた東高バレー部に入り、アツという間に東高バレー部での時間が過ぎました。強く優しい先輩を追いかけていた1・2年。後輩を引っ張っていく3年。自分たちなりに勝利を目指して過ごした日々。東高バレー部に入らなければ出会わなかった仲間と一つのボールを繋いだ経験。全ての出来事が未来のあなたを支えてくれます。おつかれさまでした。後輩のみなさんも想いをボールにつないでがんばれ!(保護者)





男子 団体:優勝 インターハイ出場

芦川丈治(3-1)・小林岳(2-1)・南部耕佑(2-6)・小林晴(1-7)・塩谷丈(2-2)・原田康生(3-6)・中砂友希(3-6)

60kg級 原田 康生(3-6) 優勝 インターハイ出場

73kg級 中砂 友希(3-6) 第3位

81kg級 芦川 丈治(3-1) 第2位

90kg級 小林 岳(2-1) 優勝 インターハイ出場

100kg級 塩谷 丈(2-2) 優勝 インターハイ出場

100kg超級 南部 耕佑(2-6) 優勝 インターハイ出場

牧浦 太陽(1-4) 第3位

女子 団体:第3位

70kg級 網谷有里子(3-1) 第2位

78kg超級 河野 志織(3-6) 優勝 インターハイ出場

柔道部

message

柔道部男子の皆さんへ

「東高で柔道がしたい」と強い思いで入学し、早3年、柔道をはじめて11年。試合でなかなか結果が出ず苦悩の連続の息子でしたが、顧問の先生、コーチ、共に練習をしてくださった方々、なにより良き仲間恵まれ、全国大会に出場することが出来ました。ありがとうございます。とても充実した部活動だったと思います。残りの高校生活、感謝の気持ちを忘れず、次の目標に向かって頑張っていきたいと思います。(保護者 中砂修一)

柔道部女子の皆さんへ

message

保育園の時から一緒だった柔道未経験の2人が、毎日激しい練習に耐え、各地への遠征や強豪校との合同練習などで揉まれ、お互いに切磋琢磨して、この2年あまりの間に随分成長し強くなりました。これも時に厳しく時に温かくご指導いただきました方々、励まし合ってきた仲間たち、皆様の支えがあったればこそと感謝致します。誠に残念ではありますが、下級生部員がいないため、この大会を最後に女子柔道部は休部状態に入ってしまいます。それだけに2人には「有終の美」を飾ってほしい。弱い相手などないけれども、最後まで闘志全開でぶつかってほしい。頑張れ!しーちゃん、ゆりちゃん!(保護者)

テニス部

男子団体 準優勝 中国大会出場

橋川蒼生(2-7)、田中宏和(3-2)、松本龍我(3-7)

植村健希(3-5)、浦木勇輔(3-6)

男子シングルス 橋川蒼生(2-7) 準優勝 インターハイ、中国大会出場

田中宏和(3-2) ベスト8 中国大会出場

男子ダブルス 田中宏和(3-2)・松本龍我(3-7)組 第3位 中国大会出場

浦木勇輔(3-6)・橋川蒼生(2-7)組 第3位 中国大会出場

女子団体 ベスト8

message テニス部男子の皆さんへ

インターハイ出場を目指し、努力を重ね、様々な思いを胸に抱えて挑んだ高校総体、目標にはあと一歩届かなかったけれど、私たちはたくさんの感動をもらいました。日々の部活動に真剣に向きあえばこそ、悩み、苦しむ姿も見えてきました。この経験は今後の人生の大きな糧になると信じています。幼い頃からテニスを通じ出会った地域の方々や保護者のみなさん、先生、そして大切な仲間たちへ感謝すると共に、この繋がりを大切に歩んで欲しいと願っています。次の新たな目標に向け前へ進み始めた姿に、今はあなたの大きな成長を感じています。fight!(保護者 田中弓子)

message

テニス部女子の皆さんへ

初めは、ラケットの持ち方さえもわからず毎日「四苦八苦」していましたが、コツコツと一生懸命に練習を重ね、暑さ寒さとも戦いながら、よく頑張ったと思います。最後の総体の試合の時は、最後まで全員で楽しそうにプレーや応援をしていて親としては勝ち負けよりもそういう姿が見られたことがうれしかったです。最後に3年間娘を支えてくださった先輩方、先生、応援してくれた後輩、そして仲間のみんな本当にありがとうございました。(保護者)

バドミントン部

message

バドミントン部女子の皆さんへ

高校から始めたバドミントン。上達しない自分に落ち込み、悔しい思いをしたり、自分が部長にふさわしいのかと悩んだりしながらも、日々の練習に取り組み、努力続けた3年間でした。素敵な仲間、よき先輩や後輩、顧問の先生に恵まれ、充実した時間を過ごすことができたことは、一生の宝物です。お疲れさまで。そして、たくさんの成長を見せてくれ、ありがとう。(花梨の母)

message

弓道部女子の皆さんへ

憧れの弓道部に入って3年、終わってみればあつという間でした。部活と勉強の両立は大変で楽しいこと、苦しいこともたくさんあったと思います。しかし、部活動を通じ良い仲間恵まれ一緒に頑張れた経験は、良い思い出となり将来役立つ時があることと思います。その経験を活かし夢に向かって頑張ってください。お疲れさまでした。(保護者)

弓道部男子の皆さんへ

矢が的のある安土にとどき、た空気の中で弓を引く姿、矢の音…何度見ても感動しました。楽しく弓道を続けられたのは、ありがとうございます!叶えたかった夢は1・中!!(弓道部男子の母)



ソフトテニス部

・男子団体 決勝 1-2 米子松蔭 準優勝 **中国大会出場**

垣田郁也(3-6)・松田零士(3-4)組、大谷健悟(3-4)・關木隆光(3-3)組、廣岡賢(2-7)・金谷颯太(3-7)組、中嶋龍治(3-2)・三谷丈朔(3-2)組

・男子ペア 垣田郁也(3-6)・松田零士(3-4)組、大谷健悟(3-4)・關木隆光(3-3)組、廣岡賢(2-7)・金谷颯太(3-7)組、上田佐(2-6)・常田大貴(3-4)組 **4ペア中国大会出場**

・女子ペア 義仲布多葉(2-2)・濱岡紅衣(3-2)組、田中未来(3-4)・玉木理菜(3-5)組、徳山美里(3-1)・松岡美咲木(3-1)組、前島志帆(2-7)・荒西花梨(2-4)組 **4ペア中国大会出場**

message

ソフトテニス部男子の皆さんへ

毎日、日が暮れるまで残って練習し、休みでも集合して練習するほどテニスが好きでした。目標にしていたインターハイ出場は残念ながらありませんでしたが、仲間と一緒に頑張った事は一生の宝となると思います。本当に良い仲間、良い先生に出会えたことに感謝しています。今後は将来の夢に向かって頑張ってもらいたいです。(保護者 垣田真弓)

message

ソフトテニス部女子の皆さんへ

入部間もない頃。部友の言葉。「柿本先生の求めるレベルについていけないのはわかるけど、ひょっとして先生が私のレベルについてこれていないんじゃないか？」思わず吹き出した。先生が転任され副校長先生にコーチをお願いしてきたとホッとしていたが、ある時「山口先生、女子の試合は心臓に悪いと言いながら、テニスが好きなんだ」。高い目標を持たせ、丁寧に支えていただいた先生方、ありがとうございました。3年生の皆さん、これからは勉強部ですが、コーチは東高にたくさんいらっしゃいます。あとひとふんばり。やったらうじゃん！(保護者 松岡一)



ビームライフル部

- ・男子 田中 蓮(1-7) 種目BRS60MJ 第5位 **全国大会出場**
青木柊斗(1-3) 種目BRS60MJ 第7位
大旗玲至(1-7) 種目BRS60MJ 第10位
津村威緒(1-5) 種目BRS60MJ 第4位 **全国大会出場**
- ・女子 坂田光穂(1-1) 種目BP40WJ 第1位
石名 萌(1-7) 種目BRS40WJ 第1位 **全国大会出場**



message

ビームライフル部の皆さんへ

ビームライフル部が新設され、県高校総体に初出場しました。この日のために蓄えてきた力を発揮し最後までベストを尽くすことが出来ました。応援して頂いている学校の先生、外部コーチの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。今後も高校生活を楽しみながら目標に向かって頑張ってもらいたいと願っています。(光穂の母)



弓道部



message

手前の芝生に刺さっていた。そして的に中るように。凜とした。的に中った時の「パン」という音。悔し涙も流したけれど、仲間の支えがあったから。あ、2年生に託します。目指せ！皆

卓球部

- ・男子ダブルス 橋本純弥(3-5)・柁尾龍汰(3-1) ベスト8
- ・女子シングルス 榎 琴音(2-7) ベスト8
- ・女子ダブルス 榎 琴音(2-7)・高田 茜(2-2) ベスト8

message

卓球部男子の皆さんへ

東高で卓球を続けると決めて3年間頑張ってきました。キャプテンになり、もっとこんな風になりたい...といういろいろと葛藤していたようです。春季大会・高校総体では、たくさんの卒業生が応援に来てくださり力を貰いました。良い成績を残すことが出来、見守ってくださった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。これからも目標を持って前に進んで歩んでほしいと思います。(保護者)

message

卓球部女子の皆さんへ

高校生活最後の試合が先日終わりました。技術面の成長はもちろんメンタルの強さを感じることができた白熱した試合を見ることができ、とても感激しました。小中高と続けてきた卓球。試合のたびに一喜一憂したり、すごく楽しませていただきました。これもこれまで関わって下さった先生方、OB、部の仲間が存在があったからだと思います。この部で沢山のことを学び、かけがえない時間を過ごせたことに感謝したいです。本当にありがとうございました。(保護者 中原貴久枝)



水泳部

男子 総合 2位

400mメドレーリレー 2位

400mフリーリレー 2位

800mフリーリレー 1位

安藤弘樹(3-1) 400m個人メドレー 1位、200m個人メドレー 2位

星合隼宏(3-4) 1500m自由形 5位

山本 真(3-5) 1500m自由形 1位、400m自由形 1位

猪山裕之(3-6) 400m個人メドレー 3位、400m自由形 3位

大崎海翔(2-1) 200mバタフライ 2位、100mバタフライ 3位

本田航平(2-1) 200m平泳ぎ 1位、100m平泳ぎ 1位

難波将大(2-5) 200m背泳ぎ 6位、100m背泳ぎ 6位

山本 資(2-6) 400m個人メドレー 7位

猪山智久(1-3) 200m背泳ぎ 3位、100m背泳ぎ 3位

大西 翔(1-3) 200mバタフライ 4位、100mバタフライ 7位

田中海地(1-4) 200m平泳ぎ 5位、100m平泳ぎ 3位

吉尾 祥(1-4) 200m平泳ぎ 6位、200m個人メドレー 5位

女子 総合 優勝

400mメドレーリレー 4位

400mフリーリレー 3位

800mフリーリレー 3位

岸田美怜(3-1) 50m自由形 1位、100m自由形 2位

徳田 響(3-1) 400m個人メドレー 3位、200m個人メドレー 4位

吉尾真歩(3-3) 200m平泳ぎ 3位、100m平泳ぎ 4位

久本美空(3-4) 200m自由形 5位、100m自由形 6位

岸本麻央(2-4) 400m個人メドレー 2位、200m個人メドレー 2位

内田英里(2-5) 200m背泳ぎ 4位、100m背泳ぎ 7位

小西乃愛(2-6) 200m平泳ぎ 4位、100m平泳ぎ 2位

奥田虹聖(1-3) 800m自由形 3位

吉村奈緒(1-4) 200m平泳ぎ 6位、100m平泳ぎ 3位

樋引菜々穂(1-6) 400m個人メドレー 4位、200m個人メドレー 6位

山本菜月(1-6) 200m自由形 1位、100m自由形 1位

森田紗和(1-7) 800m自由形 4位、400m自由形 8位

掲載されている生徒は
中国高等学校選手権水泳競技大会
(7/20~7/22 米子) に出場

message

水泳部の皆さんへ

鳥東水泳部に入部。大丈夫だろうかと心配しました。日々自分がとの闘いで、いい時も悪い時もあきらめず頑張ってきましたね。これも、先生方や先輩方、仲間達に支えてもらい来られたことと思います。これからも、感謝の気持ちを忘れずに色々な困難、泳ぎ切ってください。(保護者 星合洋子)



祝 第100回 全国高校野球選手権記念 鳥取大会

永きに渡る歴史の中で、固く結ばれた絆。自分と仲間を信じてプレーする姿に無限のエールを送ります!

2回戦の結果

鳥取東 0 - 7 鳥取城北



message

野球部の皆さんへ

息子が野球をはじめたのが小学2年生。一緒にキャッチボールをした毎日を懐かしく思います。あれから11年あっという間でした。高校3年間の早さには驚きです。部員8人3年間続けてこれたことを本当に嬉しく思います。高校野球を通じて経験したことは、これからの彼らの人生に大きな力となると思います。今まで指導してくださった先生方、コーチ、チームメイトに感謝の気持ちを忘れずに次のステージでの活躍に期待します。(保護者 中島寿美子)



昭和7年の第9回選抜大会出場チーム(二中時代)



進路部から保護者の皆さまへ



進路部長

本 庄 大 志

2017年度進路状況の概要

まず昨年度の進路状況について、その概要をお伝えします。(表1・2参照)

進学については、鳥取大学の53名をはじめとする国公立大学144名(前年度132名)、私立大学319名(同253名)、短大25名(同30名)、専修学校等40名(同64名)という合格者数でした。難関国立大学については、京都大学1名、鳥取大学医学部医学科の1名にとどまり、厳しい結果でした。一方で、最後まで5(6)教科に取り組んだ生徒が多く、地方国立大学の合格者数を伸ばしました。

私立大学の合格者数も増加しましたが、センター試験から国公立二次試験までの期間が長く、複数学科の併願もしやすくなり、のべ受験者数が増えたことが要因であると思われます。一方で、私立大学の合格者の絞り込みが年々厳しさを増し、特に都市圏の私立大学は文系学部を中心に現役合格が難しくなっています。

短期大学合格者のうち3名が地元の鳥取短大。その他すべて近畿圏(三重含む)と中国圏の短大です。近年は、4年制への移行が散見されます。専修学校・各種学校については、看護・医療系への進学が大半です。

就職者は6人おり、うち5人は公務員、残り1人は一般企業です。公務員の内訳は、国家公務員(税務含む)2人、鳥取県職、鳥取市職、鳥取県警察各1人です。授業への取り組みを大切にしながら、意欲的に公務員用の問題や適性検査の練習に早くから取りかかってくれた成果だと思います。

表2. 主な大学合格者内訳

国公立大学 (144名)			私立大学 (319名)		
京 都 大	1	広 島 大	7	早 稲 田 大	3
筑 波 大	1	山 口 大	5	立 教 大	1
埼 玉 大	2	徳 島 大	3	法 政 大	1
千 葉 大	1	香 川 大	3	関 西 大	9
東京学芸大	1	愛 媛 大	3	関 西 学 院 大	3
信 州 大	2	九 州 工 業 大	1	同 志 社 大	3
静 岡 大	2	高 崎 経 済 大	1	立 命 館 大	8
京都教育大	1	兵 庫 県 立 大	2	京 都 産 業 大	10
奈良女子大	1	鳥 取 環 境 大	7	近 畿 大	32
鳥 取 大	53	鳥 根 県 立 大	5	龍 谷 大	12
鳥 根 大	12	県 立 広 島 大	2	鳥 取 看 護 大	7
岡 山 大	5	その他の国公立大学	23	その他の私立大学	230

表1. 2018(平成30)年度入試合格者内訳

3年 既卒 計		
卒 業 者 数	275	
延 合 格 者 数	340	188 528
大 学 内 訳	国 立	81 34 115
	公 立	23 6 29
	私 立	180 139 319
	短 大	23 2 25
	専修学校等	33 7 40

進路実現に向けた夏季休業期間の過ごし方

例年ほとんどの生徒が4年制大学、その大半が国公立大学を志望しているので、大学進学に向けた話をします。1年生はまだはっきりとした志望先を決めていない生徒が多いですが、これから文系・理系・理数のコース選択が待っており、夏季休業期間を利用して進路について十分に検討する必要があります。その際、できるだけ入試レベルの高い大学を志望することを勧めます。最初から自分の能力を過小評価したり妥協したりしても学力の向上には繋がらないからです。それは2年生も同様です。一方で、大学名や学部名だけでなく、自分が大学でどんなことを学びたいのか、大学でどんなことが学べるのかを知ることが重要です。それが見えるほど勉強に向かう気持ちは強くなり、自分を支えてくれます。志望校が決まっている人は、夏季休業期間を利用して大学のキャンパスに行くモチベーションが上がることでしょう。また、勉強だけでなく普段できないことにチャレンジしたりすることのできる期間です。様々な経験がそれまでに気付かなかった自分の能力や知ることのなかった分野の発見に繋がるかもしれません。

3年生は脳目も振らず勉強あるのみですが、夏季休業期間を利用して、志望校の入試問題研究をすることを勧めます。弱点を見だし補強するためです。決して弱点を見だして逃げるためではありません。ここで志望を下げても何もないことはありません。まだ半年近くある本番に腰を据えて着実に力を付けることが、結果として合格への近道となります。

このように夏季休業期間は進路を考え実現する上で大変よい時期です。お子さんがどのようなことに興味・関心があるのか、将来どのような職業に就きたいのか、適性はどのようなかなど、親子でじっくりと話し、体験入学やオープンキャンパスに参加することを検討されてみてはいかがでしょうか。

学校においても、夏季休業中は、例年実施している補講や自主学習の時間であるセミナー、3年ではこれらに加えて夏期サテライン講座を計画しています。こうした学習機会を上手に活用し、充実感、満足感をもって2学期を迎えられることを願っています。

今年度の進路部担当教職員

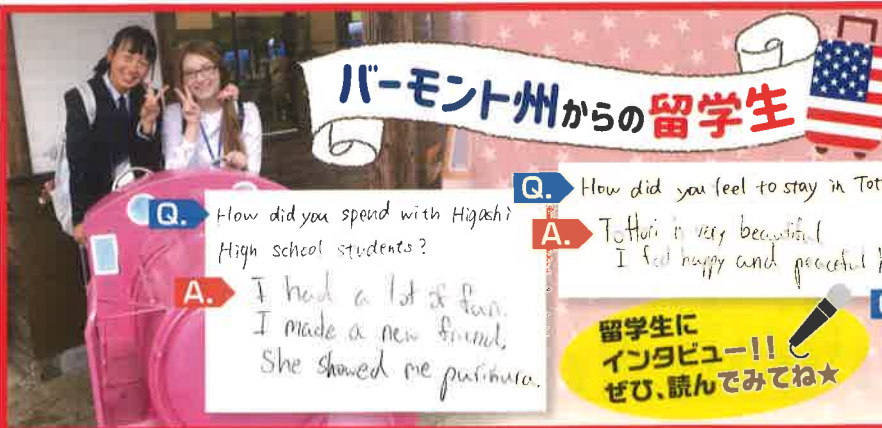
- 第1学年…… 秦野 大樹(1年4組担任)、大西 真理(1年6組担任)、松下 奈弥(1年7組担任)
- 第2学年…… 富林 紀之(2年4組担任)、山口 優介(2年6組担任)
- 第3学年…… 徳田 千春(3年4組担任)、浅田 有希(3年7組担任)
- 進路部専任… 安治誠一郎(主幹教諭)、本庄 大志(進路部長)、中田 典子(企画)、栗原由紀子(就職)、井上真利奈(情報)、圓井 恵子(庶務)

今年度、進路を担当する教職員をお知らせいたします。

何かお尋ねになりたいことがありましたら、ご連絡をいただければと思います。



バーモント州からの留学生



Q. How did you spend with Higashi High school students?

A. I had a lot of fun. I made a new friend. She showed me purikura.

Q. How did you feel to stay in Tottori?

A. Tottori is very beautiful. I feel happy and peaceful here.

留学生にインタビュー!! ぜひ、読んでみてね★

バーモント州高校生来校

今年も、アメリカ合衆国バーモント州より高校生9人に、鳥取東高を訪問いただきました。英語・書道の授業をはじめ、放課後は柔道部、邦楽部など多くの生徒と交流しました。

Q. How did you feel to stay with my family?

A. Everyone is very nice, so I can happy. Thank you for helping me with food.



子どもにける言葉

一年保護者 向根千恵子
少しスタートは遅かったですが、中学三年夏になってから、東高合格を目指して頑張っていました。中学の先生は「毎日、コツコツ努力が必要だ」とお声をかけもしていただきましたが、中学三年の秋も冬もあつと言う間に過ぎていきました。

春、無事合格でき喜びもつかの間、東高レベルについていく大変さを実感した三月月だったと思います。補習、再テスト、色々なことがあり、落ち込む様子もありました。「補習・再テストで他の子より多く勉強出来るから、今は、よかったです」と思っていたら、声をかけました。その言葉が正解なのか、誤っていたのかわかりません。子どものプラスになる言葉は難しいです。

勉強と部活で毎日ハードな生活を送っていますが、家で部活動中心に学校生活の楽しさを話してくれました。あこがれの書道部に入部して、好きだった習字と書道は全然違っていたことを実感しつつ、先輩方の作品に刺激を受け、少しでも追い付こうと努力している姿がうかがえます。好きなこと、苦手なことすべてを含め、中学校の先生にかけていただいた「毎日、コツコツ努力」を心にとめ、自分の目指す将来の為、後悔しない学校生活を送ってほしいと思います。親として、子どもの心に残る言葉をかけるようにしたいと思います。

母からのエール

一年保護者 西川 知枝
中三の秋まで硬式野球に没頭していた息子は、なかなか受験勉強にエンジンがかからず、「なんともかなる。大丈夫だ!!お母さん」担任の先生からは「うーん」そんなこんなでしたが、晴れて鳥取東高に入学することができました。

現在、那岐から通学していますので、汽車の長旅の毎日。親子共々、早起きとの戦

いが続いています。

そして彼は、入学と同時に生意気度がさらにグレートアップ。「今日、弁当作るの忘れた。」といった仕返ししてやろうかと思っている今日この頃です。

また、息子は高校に入学してからも大好きな野球を素敵な先輩、スタッフの皆さんにお世話になりながら続けています。その点は大いに賛成ですが、午後九時過ぎに帰宅後はぐったり。朝の四時に起きて勉強すると言っていたのに、いつから始めるの？

高校生活ってこんなんでいいの？と思いつつ静観しています。私の高校時代、つらくてもスポーツを続けておけば、もつと勉強しておけば良かった。と後悔し、後の祭りの自分を考えて、逆に息子の今の姿が羨ましくも見えます。

人生誰しも振り返れば、少なからずとも後悔があるのでは。息子よ、自分の目標は決まっているはず。現実を見据えて次のステージに進むために何が必要なのか。何をすべきなのか、今考えないと……。高校生活は短い。野球は応援します、勉強も頼むよ！

輝かしい未来ある今を大事に

一年保護者 植田美由紀
コツコツと努力を重ねる念願の東高に合格し、三月月が経過しました。勉強に部活に精一杯取り組み、奮闘しながらも徐々に学校生活に慣れ、親としては一安心している次第です。

娘が受験勉強に励んでいた昨年、娘にあっては母方の祖父を病気で亡くしました。共働きの私たち夫婦に代わり、娘の幼稚園の送り迎えや、風邪をひいた時は病院にも連れて行ってくれました。そんな優しい祖父との悲しい別れ。健康であること、命があること、そのありがたさは、忙しい日常の中で忘れがちです。しかし、家族を失った中で、その寂しさと共に、命の大切さ、優さを子どもながらに実感していると思います。人生は一度きり。だからこそ悔いのない人生をと誰もが願っています。高校生活はその通過点。通過点である今が大事なのです。これから先どんな出逢いがあるのかわかりません。人と人との関わりの中で生きていくことが人生。自分の命を大事にしながら、先生や友人の命も大事に出来る人になって欲しいと思います。父方の祖父が名前を与えてくれた

「優」という字。その「優」に託された願いを胸に刻みながら、輝かしい未来ある今を大事に過ごし、有意義な高校生活を送って欲しいことを願っています。

決意

一年保護者 坂本 一美
『絆』の原稿を書くにあたって、高校一年生になった我が息子の良さを思い返してみたい。完全な親バカだと認識しているが、この機会に息子に伝えてみようと思う。

「息子よ。あなたの知らない『あなたの良さ』を教えてください。」
あなたは、物腰は柔らかいのに、なぜか意志は頑固。この二つの力は偉大で、これからの人生のあらゆる場面で、きつとあなたの助けとなるでしょう。

高校生の今、周りの大多数がスマホを持っているにも関わらず、「僕、今はスマホいらない」と言い、スマホどころかガラケーすら持っていないあなた。周りに流されず、自分の意志を貫きながら、人とうまくコミュニケーションをとっている息子にアッパレである。そんな息子を誇りに思う。

そして、親として襟を正される思いでいる。親だからといって、あなたに上から目線や物を言うつもりはない。立派な親じゃないからこそ、我が息子にとって、恥じる事のない親でありたい。

親から子への思い

一年保護者 中嶋 昌浩
娘が東高に入学し、早三月月が経ちました。中学時代から「東高に入りた」と言っていました。さすがに「安心」といっていいことができたが、ようやくその思いを果たすところでしょう。思い起こせば三十三年前、私も娘と同じ気持ちで、東高の門をくぐりました。あれから随分と月日は経ちましたが、今までの人生の中で高校時代が一番楽しく充実していたと、これだけは自信を持って言えます。それくらい東高は魅力にあふれています。そんな東高に我が子が入ってくれようとは夢にも思いませんでした。が、保護者であると同時に「OB」としては嬉しい限りで、これから三年間、充実した日々を送ってくれることと思っています。

さて、話は変わりますが、先日、長らく見ることもなかった私の高校時代の卒業アルバムをふと見ると、教師陣の中に若かりし頃の居室校長の顔があったのです。直接教えを受けたことはなかったのですが、入学式あるいはPTA活動の中で、生徒や学校への熱い思いを語っておられる姿を拝見しました。当然のことながら、私の頃とは何もかも変わってしまったが、先生方の生徒に対する熱い思いは、今も当時と変わることなく受け継がれており、あらためて、我が子が東高へ入ってくれて本当に良かったと思っています。

そんな素晴らしい東高に入学した娘に對し、私の真似をして欲しくないことが一つだけあります。それは、三年間部活を止めないで欲しいということです。私の高校時代は、部活に入っていない人を俗に「帰宅部」と呼んでいましたが、恥ずかしな私が私も部でしていましたが、何か部活に入っておくべきだったと今でも後悔しています。部活動というのは、自分がやりたいから入るといえるのはもちろんですが、組織としての人間形成の場でもあると思います。たとえレギュラーになれなくても、また、どんなに少人数の部であっても、三年間、部活で学んだことは必ず社会に出てから役立ちます。私が娘に對して偉そうに言える立場ではありませんが、失敗談を伝えるのも親の役目です。それを聞いてどう思いかは娘の自由ですが、とにかく、充実した三年間を送ってくれ、部活を頑張るべきです。そのためのサポートを、惜しみなくしていきなさいと思います。

何事も節度を持って

一年保護者
子どもが高校に入学して三月月が経過しました。希望した高校に入学し、中学校から続けていた部活に入部して、充実した日々を過ごしているようです。ただひとつ気掛かりなのが高校入学を機に買いつけたスマートフォン。高校生になって活動範囲が広がり、部活や塾で帰宅が遅くなることなどから、連絡手段として持たせたわけですが、平素の使用量を見ていると、常に握り握り置いて、勉強中も手の届くところに置いてあるそのスマートフォン、本当に必要なのだろうか。スマートフォンの過度な使用は健康に悪影響を与えるといわれている。よく言わ

れているのが、

○アルコールへの依存が脳に悪影響を及ぼすように、夢中になり過ぎると認知症に近い症状を起こすことがある

○近くがばやけで見え、目がかすむといった老眼と同じような症状の「スマホ老眼」が子どもでも起こりうる

○うつむいた姿勢を長時間続けることで、本来緩やかにカーブしている首の骨が直線に近い状態になる「ストレートネック」に近い、肩こり、めまい、吐き気などの症状が出る

スマートフォンは情報収集には非常に便利であり、決して、全く使うなどというつもりはな。健康に悪影響を及ぼすということを分かった上で、せめて勉強中くらいは、手の届かないところに置いて、節度ある使用に心がけてもらいたい。

子育てへの思い

一年保護者 山下 浩司
他県出身で、鳥取には縁もゆかりもなかった私達が仕事の関係で移り住み二十年以上の長女長男が他県に進学し、末っ子の息子も高校生になり、子育てが終わったかのようであつと寂しい気持ちでいます。

しかし、入部したサッカー部は、保護者の繋がりも強く、高校でも試合観戦を楽しむことをとても嬉しく感じています。私は仕事で海外の人と関わる事が多く、海外では学歴や成績は関係がなく、人としての魅力の大切さを、万国共通で感じます。

高校生活は、その基礎を育てる時期だと思っています。

勉強や部活はもちろんですが、人の役に立つこと、人から必要とされること、自分のやりがいは何なのかなどを、この鳥取東高での生活を通じて学び、時に壁にぶつかり、失敗をしつつも魅力的な人になって欲しいと陰ながら応援しています。

鳥取東高通信174号に写真、原稿等でご協力いただいた皆さまに、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

文化広報部一同